

被爆しても
ピアノの音色は
変わらなかつたのです



おかあさんの被爆ピアノ

佐野史郎 | 武藤十夢 (AKB48)

森口瑠子 | 宮川一朗太 | 大桃美代子 | 南壽あさ子 | ポセイドン・石川 | 谷川賢作 | 鎌滝えり

飯島晶子 | 城之内正明 | 沖正人 | 小池澄子 | 若井久美子 | 中山佳子 | 石原理衣 | 鈴木トシアキ | 竹井梨乃 | 渡川穂音 | 原岡見佐 | 榎野幸知 | 内藤忠司
増井めぐみ | 田村依里奈 | タラート記念国語高校の皆さん | 中原由貴 | 谷本望一郎 | にこもとりか | 藤江潤士 | 大島久美子 | 森原崇樹

主題歌「時の境」南壽あさ子 | 音楽 谷川賢作 | 配給 新日本映画社 | 製作 映画「戦艦CANA」製作委員会 | ユグゼンティアプロデューサー 大橋節子・牛山太輔・金谷明 | ゼネラルプロデューサー 城之内正明
特別協力 矢川光岡 | プロデューサー 長瀬幸吾 | 協力プロデューサー 小林良二・野野善博・小竹尚高 | 撮影 藤川一 | 実景撮影 高橋賢治 | 美術 藤原京子 | 脚本協力 渡辺清樹・原田八子
協力 広島フィルムコレクション・シネマキャラバンV.A.G. 邦任用金庫
協力 広島フィルムコレクション・シネマキャラバンV.A.G. 邦任用金庫

協賛 映画「戦艦CANA」を記憶する会・学校法人同志学園・島市島原・豆蔵・ANDREXIN・福岡轟堂加工株式会社・和電通株式会社・フープCSネット・生協ひらしま・広島県生活協同組合連合会 | 後援 広島市・広島県教育委員会・広島県・広島県教育委員会

hibakupiano.com <https://twitter.com/hibakupiano>

監督・脚本 五藤利弘

イントロダクション

被爆してもピアノの音色は変わらなかったのです”
75年目のいま、蘇った音色が私たちに語りはじめる—

昭和20年8月6日8時15分…

広島に投下された一発の原子爆弾。壊滅的な状況の中で奇跡的に焼け残ったピアノ。被爆したピアノを修理し自らトラックを運転して全国をまわりながら平和コンサートを続ける調律師・矢川光則氏をモデルに、矢川氏がもしこんな人と出会ったら…、こんな場所を訪れたら…、と想像させる“その先”のストーリーを横軸にドラマを展開させ、平和への想いを静かに、かつ心に滲みあがらせます。

五藤監督と矢川氏の出会いは、2009年、フジテレビの「NONFIX」にて「私は…被爆ピアノです」(同年9月3日放送)の副題で放送され好評を博したドキュメンタリーをきっかけに、取材をしたことからでした。矢川さんは言います。「75年経って被爆体験者は段々いなくなっていて、あと10年もしたら殆どいなくなる。けれど被爆ピアノは、その音色でずっと原爆のことを伝えていくことが出来る」と。その言葉から映画化を構想することになりました。

被爆ピアノにまつわる実際の話から着想を得たオリジナル映画を、佐野史郎とAKB48の武藤十夢のW主演で製作が決定。佐野史郎は同じ中国地方の島根県出身でもあり、被爆地広島の方々の息遣い、想いを感じながら広島弁で演じています。武藤十夢は、一昨年、AKB48総選挙で神セブンと呼ばれる7位に。昨年は、気象予報士合格と着実に活躍の場を広げている中で今作にW主演の1人として出演し、才能の幅の広さも見せています。その他、ヒロインの父親役に宮川一朗太、母親役に森口瑤子、祖母役(学生時代)と主題歌にはNHK「みんなのうた」でも好評を博した南壽あさ子を迎え、戦後75年を迎える2020年に公開致します。

被爆ピアノとは・・・

広島に投下された原爆の爆心地から2キロほどの至近距離で被爆したピアノのこと。出来るだけ元の部品を生かして調律され、命の大切さを奏でる平和の音色として現役で活躍している。現在、矢川氏の経営する矢川ピアノ工房では6台所有している。(2020年5月現在)

全国1500箇所以上の各地で音色を披露してきたが、その活動は国内だけにとどまらず、2010年にはニューヨークまで渡った。また、2017年12月12日には、ノルウェー・オスロ郊外で行われたノーベル平和賞受賞者を讃える恒例の「ノーベル平和賞コンサート」にて披露・演奏され、力強いピアノの音色に大きな拍手が送られた。

ストーリー

昭和 20 年 8 月 6 日に広島で被爆したピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則。彼自身も被爆二世。爆心地から 2 キロほどの至近距離で被爆したピアノを矢川は修理、調律して、それを自ら運転する 4 トントラックに載せて全国を回っている。東京で育った江口菜々子(20)は大学で幼児教育を学び将来幼稚園教師を目指しているものの将来について漠然としている。菜々子は、被爆ピアノコンサートの情報を偶然知り、調べると被爆ピアノの一台を母・久美子が寄贈していることを知り、コンサートを観に行く。そこで矢川と出会い、日本各地を回って「被爆ピアノ平和コンサート」活動をしていることを聞きながら、菜々子は傷ついたピアノを触り、鍵盤を弾いてみる。しかし、音が綺麗に出ない。ピアノと今の自分の心境を重ねる。被爆二世の母から広島のことや音楽講師をしていた祖母・千恵子のことなどを知らされてこなかった。菜々子は祖母のこと、広島のこと、被爆ピアノのことを知りたくなり調律師に頼んで広島までトラックに乗せてもらって同行する。

広島に着くと、2年前に他界した祖母・千恵子が住んでいた母の実家はそのままにされており、間もなく再開発で壊されると叔父から聞かされる。今も家にある写真、古い楽譜などから祖母のことを辿っていく。そうすると、菜々子が5歳の頃に千恵子に可愛がってもらった記憶が蘇る。でもなぜかそれ以降の祖母の思い出が思い出せない…。母はどうして広島から出て行ったのか？祖母が菜々子に伝えたかったこととは？と自分のルーツに関する謎が深まるばかりだった…。

菜々子は矢川とともに、被爆ピアノの活動に同行することを通して自分のルーツを巡り、次第に何かを見つけていく…。そして、8月6日に平和記念公園の片隅にある被爆アオギリの前でコンサートをやると聞き、自分もピアノを演奏すると決意するが…。

キャスト&スタッフ

矢川光則役 佐野史郎

1955年3月4日、島根県生まれ。

75年よりシェイクスピア全作品の上映を目指していた劇団シェイクスピアシアター（現劇場）の創立メンバーとして役者としてのキャリアをスタートさせる。80年には唐十郎主催の現劇場に移り、銀幕デビューは『夢見るように眠りたい』（86/林海象監督）で初主演を飾る。その後は初めてドラマ出演した「ずっとあなたが好きだった」の冬彦役で広く知られるようになり、数々のドラマ、映画、舞台に出演する。主な代表作は『ゲンセンカン主人』（93/石井輝男監督）、『写楽』（95/篠田正浩監督）、『太陽』（06/アレクサンデル・ソクーロフ）、『千年の愉楽』（13/若松孝二監督）、『なりゆきな魂』（17/瀬々敬之監督）など。99年には『カラオケ』で監督デビューも果たす。演技以外でも小説やエッセイ集を出版するなど、多彩な才能で活躍している。



江口菜々子役 武藤十夢



1994年11月25日、東京都生まれ。

11年に12期生としてAKB48に加入し、2018年にAKB48 53rd シングル世界選抜総選挙で7位に選出される。19年には気象予報士の試験に合格。その後、舞台「幕末太陽傳 外伝」に出演や「ABEMA Morning」でお天気キャスターを務めるなど、活動の場を広げてマルチなアイドルとして活動中。

江口久美子役 森口瑤子



1966年8月5日、東京都生まれ。

83年に『男はつらいよ・口笛を吹く寅次郎』（山田洋次監督）でデビューする。その後は数々のドラマ、映画に出演している。主演作『Unloved』（01/万田邦敏監督）で第54回カンヌ国際映画祭批評家週間部門、エキュメニク新人賞と金のレール賞を受賞。最近の主な映画出演作に『八日目の蝉』（11/成島出監督）、『鍵泥棒のメソッド』（12/内田けんじ監督）、『ソロモンの偽証 後編・裁判』（15/成島出監督）、『太陽』（16 入江悠監督）、『万引き家族』（18/是枝裕和監督）、『映画 少年たち』（19/元木克英監督）など、数多くの作品に出演。

江口公平役 宮川一朗太



1966年3月25日、東京都生まれ。

83年、『家族ゲーム』（森田芳光監督）のオーディションに合格し、主演デビュー。日本アカデミー賞優秀新人賞を受賞する。それ以降、俳優としてドラマ、映画に多数出演する他、競馬キャスターやCMナレーション、コメンテーターなどでも幅広く活躍。またマイケル・J・フォックスの吹き替えを担当していることでも知られている。主な映画出演作に『ゴジラ vs メカゴジラ』（93/大河原孝夫監督）、『感染列島』（09/瀬々敬之監督）、『武士の家計簿』（10/森田芳光監督）、『るろうに剣心』（12/大友啓史監督）、『の・ようなもの のようなもの』（16/堀口正樹監督）、『スタートアップ・ガールズ』（19/池田千尋監督）など。

江口菜々子の祖母・井原千恵子の学生時代役 南壽あさ子



1989年3月6日、千葉県生まれ。

透明感溢れる唄声で多くの人々の心を捉えるシンガーソングライター。2013年メジャーデビュー。唯一無二の声が支持され、これまでにTVCM「積水ハウスの歌」歌唱、東京ガスの企業CM制作、JFN局報「呼吸のおまもり」「オキシトシン」ナレーション、ラジオDJなど幅広いジャンルで活躍。2019年に3rdアルバム『Neutral』を発売。同年秋にNHK「みんなのうた」に書き下ろした「鉄塔」が放送され反響を呼ぶ。

監督・脚本 五藤利弘

1968年、新潟県生まれ。

日本テレビ「news every.」「きょうの出来事」「NNNドキュメント」、フジテレビ「NONFIX」「ザ・ノンフィクション」などテレビ番組の企画・構成・演出・プロデューサーや劇場用映画の脚本・演出を担当。2009年自身の企画「モノクロームの少女」を映画化、脚本・監督担当。新潟県長岡市を封切りに全国で公開され、函館港イルミナシオン映画祭、長岡アジア映画祭、富士山河口湖映画祭などの映画祭で招待上映された。以降、劇場用長篇映画や短篇映画などを多数手掛ける。



2017年、脚本・監督作『レミングスの夏』では撮影地・取手の試写会で1100人を超える動員を果たす。伊豆映画祭、広島国際映画祭など各地映画祭に招待され、函館港イルミナシオン映画祭にて観客賞グランプリを受賞する。2019年春、脚本・監督作『美しすぎる議員』を公開し、現在も積極的に映像制作に取り組んでいる。

【監督作品】

聖美少女フィギュア伝(2006年) - 兼脚本

モノクロームの少女(2009年) - 兼脚本

雪の中のしろうさぎ(2011年) - 兼脚本

鐘楼のふたり(2011年)

ゆめのかよいじ(2012年) - 兼脚本

フェルメールの憂鬱(2012年) - 兼脚本

ジョフクの恋(2012年)

ブーケ(2013年)

青春Hシリーズ スターティング・オーヴァー(2013年) - 兼脚本

青春Hシリーズ 愛こそはすべて(2014年) - 兼脚本

ゆめはるか(2014年) - 兼脚本

花蓮～かれん～(2015年) - 兼脚本

レミングスの夏(2017年) - 兼脚本

美しすぎる議員(2019年) - 兼脚本・企画・編集

コメント

<主演 調律師・矢川光則役 佐野史郎>

ヒロシマ、ナガサキ原爆投下、終戦から75年のこの年、新型コロナウイルス感染により、核エネルギーと共に新たな恐怖と向き合うこととなった世界。

今一度人類が犯してきたことを振り返れ!!との啓示なのかもしれません。

被爆ピアノの音色が、少しでもこの映画をご覧になった皆様の不安を拭うお役に立てば幸いです。

七月より広島を皮切りに、東京は八月公開の予定です。

是非、ご覧いただけますようお願いいたします。

<監督・脚本 五藤利弘>

戦後 75 年目。被爆から 75 年。自分を含めて社会を担っている大人たちの殆どが戦後生まれになっています。戦争を知らない僕らは平和を当たり前のように享受してきました。しかし、当たり前だと思っていた平和は当たり前ではないことをここ数年の世界情勢の不安や、国内で度重なる災害などから強く感じるようになりました。今更ながら平和とはずっと維持しようと思いついていないと平和ではなくなってしまうのではないかと思うようになっていました。そのためには僕らが後進の若い人たちに語り継がなくては行けないと強く思うようになりました。忘れないこと、記憶し続けること、そして伝えていくこと、そうしたことを思い起こして頂くような映画になっていましたら本望です。

<プロスキーマー、クラーク記念高等学校・校長 三浦雄一郎>

世代を超えて伝えられるメッセージと調べ。
忘れては行けない大切な想い。
沢山の若者たちに観てもらいたい、心が優しくそして強くなる映画だ。

クレジット

スタッフ

エグゼクティブプロデューサー 大橋節子 染谷明 牛山大輔
ゼネラルプロデューサー 城之内景子
プロデューサー 伍藤斗吾
協力プロデューサー 狩野善則 小林良二 小竹克昌
脚本協力 渡辺善則 黒沢久子
音楽 谷川賢作
レコーディングエンジニア 水谷勇紀
撮影 藍河兼一
実景撮影 高間賢治
照明 福田良夫
録音 丸池嘉人
美術 部谷京子
スタイリスト 鎌田英子
ヘアメイク 吉村英里
整音 宋晋瑞
編集 五藤利弘
ラインプロデューサー 宮下昇
助監督 富澤昭文
演出助手 菊寛稔章 藤原里歩
制作担当 大川伸介
制作主任 奥野友輝
制作進行 セトタカアキ 谷口昭仁 須田洋史
制作応援 赤木健司
撮影助手 赤羽一真 澤田和秀 辻友哉 加藤郁夫 桐林和美
照明協力 太刀掛進
録音助手 時宗巧 小畑智寛 田辺萌乃
ヘアメイク助手 古川愛子 村山七虹
車輛 西村信彦 小池鋭元
スチール 空尾伊知郎 佐藤和弘
演技事務 船引絵美里
WEB デザイン 杉本マコト OPTIC OPUS.co.,ltd

キャスティング協力
Breath
株式会社キュービズム

協力

被爆ピアノ友の会、星野徹、生協ひろしま 組合員のみなさん、生協ひろしま碑めぐりガイドの会、中川幹朗、緒方直之、西崎智子、ひろしま国際ホテル、ホテルセンチュリー21 広島、饒津神社、おりづるタワー、株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ

映画「被爆ピアノ」を応援する会

名誉顧問 広島県知事 湯崎英彦、名誉顧問 広島市長 松井一実、名誉顧問 広島商工会議所会頭 池田晃治、名誉顧問 プロスキーヤー・クラーク記念国際高等学校校長 三浦雄一郎、顧問 広島市文化協会会長 山本一隆、顧問 生活協同組合連合会^{コオプ} 中国四国事業連合理事長 小泉信司、顧問 広島県生活協同組合連合会代表理事会長 岡村信秀

呼びかけ人

オタフクホールディングス株式会社代表取締役社長 佐々木茂喜、公益財団法人広島観光コンベンションビューロー 常務理事 黒木正之、豆撰取締役 多田礼子、株式会社広島東洋カーブオーナー・代表取締役社長 松田元、株式会社バルコム 代表取締役 山坂哲郎、シルフィード有限会社代表取締役 岡上誠、株式会社ソフィアコミュニケーションズ 林田かよ、有限会社カルブ かに料理麻布諒 代表取締役 斉藤力、映画美術監督 広島国際映画祭代表 部谷京子、被爆ピアノ世界平和コンサート基金友の会代表 手島秀昭、呉信用金庫 常務理事 堂下大地、呉信用金庫 調査役 中村誠、シネマキャラバンV.A.G副代表 友川千寿美

後援 広島県 広島県教育委員会 広島市 広島市教育委員会 広島商工会議所 中国新聞社 中国放送
広島テレビ 広島ホームテレビ テレビ新広島

協賛

学校法人創志学園、染谷造園、豆撰、ANDERSEN GROUP、錦町農産加工株式会社、松電通信株式会社、特別協力 矢川光則

配給 新日本映画社

制作 One Scene

製作 映画「被爆ピアノ」製作委員会

監督・脚本 五藤利弘

キャスト

矢川光則	佐野史郎
江口菜々子	武藤十夢 (AKB48)
学生時代の千恵子	南壽あさ子
井原千恵子	小池澄子
矢川正行	城之内正明
近藤美枝	鎌滝えり
第五福龍丸の歌手	若井久美子
PAの若者・イシ	ポセイドン・石川
朗読家	飯島晶子
小澤夏帆	中原由貴
矢川正行の同僚	沖正人
喫茶店店主	鈴木トシアキ
菊池咲	中山佳子
ピアニスト	増井めぐみ
優香	笹川柊音
ピアニスト	田村依里奈
PAの若者・マナミ	奈良平愛実
PAの若者・ネギシ	根岸孝輔
PAの若者・アキ	沖田晃宗
シャンソン歌手	谷本惣一郎
ピアニスト	にかもとりか
歌手	藤江潤士
歌手	大島久美子
ピアニスト	森須奏絵
引率教師	手島和子
第五福龍丸の高校生	クラーク記念国際高等学校パフォーマンスコースの皆さん
修学旅行生	クラーク記念国際高等学校広島キャンパスの皆さん
お好み焼き店店主	榎野幸知
岩井守彦	内藤忠司
ピアニスト	谷川賢作
コンサート司会	大桃美代子
江口公平	宮川一朗太
江口久美子	森口瑤子

© 2020 映画「被爆ピアノ」製作委員会

配給・宣伝:新日本映画社 2020年/日本/DCP/カラー/ステレオ/アメリカンビスタ/113分/G hibakupiano.com

7月17日(金)より広島県先行公開 8月8日(土)より新宿 K's cinema ほかに全国順次公開

:< 宣伝お問い合わせ先 > 新日本映画社【TEL】03-5843-1935 / FAX:03-5843-1936

< 劇場営業お問合せ > 甲斐(kai@espace-sarou.co.jp)

< 非劇場上映お問合せ > 映画「被爆ピアノ」製作委員会 代表 五藤利弘
【TEL】090-1556-4278 / MAIL:to-go-to@qq7.so-net.ne.jp